

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)5月15日 No.1124

目次

ミクロ経済の視点から見たロシア経済の特殊性③

キャピタル・フライトとロシアの対外債務(第2章 ロシアの対外債務)……………坂口 泉 1
C I S 諸国通貨の最新為替レート…………… 13

ミクロ経済の視点から見たロシア経済の特殊性③

—キャピタル・フライトとロシアの対外債務—

第2章 ロシアの対外債務

1. ロシア政府の対外債務について

(1) ロシア政府の対外債務の総額

ロシア政府の対外債務の総額については諸説がありはっきりしないが、財務省のカシャノフ第一次官が1998年秋に、合計で約1,500億ドルであるとの発言を行っていることもあり(KD, 1998.11.12)、ここではロシア政府の対外債務は約1,500億ドルであるということで話を進める。

次に、対外債務の内訳であるが、これについても諸説がありはっきりしない。上掲のカシャノフ次官によれば、1,500億ドルのうち、ソ連邦から引き継いだ債務が約1,000億ドルあり、ロシアの対外債務は約500億ドルとのことである。だが、エクスペルト誌などは、ロシアの対外債務は約700億ドルに達しているとの説をとっている(第3表参照)。

このようにロシアの対外債務に関しては、総額のみならずその内容についても諸説があり、どれが決定版なのかを判断することは難しい。したがって、第3表で紹介する数字および債務の内容も、あくまで、参考資料程度の認識で取り扱っていただければ幸いである。